

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会 news

2013年7月24日発行 No.45

8月23日『薬害根絶デー』 & 24日『民医連のつどい』が開催されます！

8月23日(金)：薬害根絶デー

11:45~12:50 厚労省前リレートーク

13:00~13:15 厚労省前庭・碑の前行動

14:00~15:30 ワークショップ (日比谷図書文化館、弁護士会館)

“小グループに分かれ、薬害被害者と懇談”

16:00~16:40 集会 (日比谷図書文化館)

(1) 1年間の活動報告 中川素充(薬害対策弁護士連絡会、実行委員)

(2) 薬害被害者団体連絡協議会(薬被連) 報告 (3) 行動提起

17:30~18:30 街頭宣伝 (有楽町マリオン前)

8月24日(土)：民医連のつどい 9:00~11:30

会場：有楽町 TKP 有楽町会議室(ホール)

◎学習講演

「サリドマイド薬害被害の実相、医薬品のインターネット販売について(仮)」

公益財団法人 いしすえ 増山ゆかり事務局長

◎各地からの報告 ◎ 閉会挨拶と行動提起

今年もストーリーフラッグとミニキラシをお届けします。

恒例の根絶デーグッズでアピールをお願い致します！！



イラスト提供「web サイト赤びきんちゃんの散・歩・遊」

薬害根絶ってなに??シリーズ第2弾! 薬害ヤコブ事件 その5

～わかば薬局 勝股さんインタビューpart2～

アメリカでは被害報告2件で使用中止となった乾燥硬膜をその後10年近く使い続けた日本。無言無動無意識のまま無くなった被害者。97年大津訴訟に始まった薬害ヤコブ訴訟。その支援に関わった薬剤師勝股さん編 No2

★裁判傍聴にみんなで行こう★

傍聴席を埋めることは「いいかげんな判決はさせないぞ」という裁判官へのアピールになります。民医連ならではの最初は言われて参加したとしても、何かを感じてくるかも・参加してみることが大事。何よりも職場の協力ができない。様々な形で多くの方が裁判を支援してきたんだと思います。

★偏見・差別という被害★

「医療従事者に妻(子供)を汚い物のように扱われたのが一番辛かった」と原告の方が言っていました。偏見や差別は薬害被害の最たるものなのだと・

★何故か明るいヤコブの会★

それでも何故かヤコブ訴訟の会は明るかった。人と人とのかわわりを大切にしてい、今でも春の花見など交流が続いています。悲しんでばかりいられないというパワーにあふれていました。その裏には葛藤もあったのですが、振り切って訴訟に力を注いでいたんだなあと思います。

わかば薬局 勝股さん

ありがとうございました♪



薬いろいろ話 ～ディオバン～

バルサルタンのハートスタディは発売10周年記念に大々的なキャンペーンを張られ注目されたのは記憶にあたらしい。その試験にねつ造、改ざんがあったとして、今年2月あたりからマスコミにもとりざたされている。

医師主導臨床試験にメーカー職員が身分を隠して統計処理に全面的に関与していたという。また、その医師にメーカーから1億円の奨学寄付金があり、利益相反の観点からも注目されている。嘘やまがい物の小細工をされて、優秀な成績を賞賛されても、誰がよるこぶのだろうか。

